

# 「伝える」って難しい。

3学年揃ってあそぶ朝の時間。ほしぐみの子ども達はこの2年間この日のために腕を磨いてきたのです(^\_^)

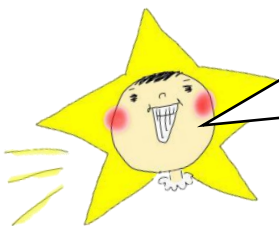
ほしぐみのお友達があわあわクリームを作っていると、3歳児さんも4歳児さんもやってきた!

おねえちゃん  
みたいに  
したいなあ。



こうやると  
できるの?

ボールを逆さに向けても落ちないくらいのふわっふわに泡立つほしぐみのお友達の泡。3・4歳児さんは見様見真似で頑張ります「できないなあ」「こうするとできるの?」と尋ねられると「水はちょっとだよ」「もっとせっけんいっぱいだよ」などと自分なりのコツを教えてあげる姿があります。



ほしぐみの「ちょっとの水」はコップに5mmほどの量。しかし、4歳児さんの「ちょっとの水」はタンクから入れるボールの底に溜まるほどの量。でした。



「ちょっと」ってこ  
れくらいかなあ

自分の楽しんでいることを「わあ。すごい!わたしもやってみたい」と憧れの眼差しで見てくれている3・4歳児さん。ほしぐみの子ども達はそんな年下の友達に自分の言葉で伝えようと頑張っています。様々な技術が身につけてきた今、「自分が思ったように伝わるにはどうすればよいのか。」を考えながらアウトプットする。試練です。さあ。次はどうやって伝えよう?



ほしぐみ